



各位

会 社 名 株式会社 電業社機械製作所
代 表 者 代表取締役 渡邊 昌信
コード番号 6365 東証第二部
問 合 せ 先 執行役員管理本部副本部長
山本 昇
電 話 (055) 975 - 8221

第3次中期経営計画 “Globalization & Growth P5” について

当社はこのたび、新中期経営計画「第3次中期経営計画 “Globalization & Growth P5”」(2009年3月期～2011年3月期)を策定しましたので、下記のとおりお知らせします。

なお、“Globalization & Growth P5”は重点施策と目標である、「海外展開と成長による営業利益率5%(P5=Profit 5%)経営」を表しています。

記

1. 新中期経営計画の位置づけ

第1次中期経営計画期間(2003年3月期～2005年3月期)ではITバブル崩壊後の市場の大幅な悪化のため「守りの経営」を行い、第2次中期経営計画期間(2006年3月期～2008年3月期)では、バランススコアカードや短期サイクルのコミットメント管理などを導入し、「経営基盤の強化」を行ってきました。

そこで今次中期経営計画では、「海外展開と成長による営業利益率5%経営」を目指すこととしました。

2. 第3次中期経営計画による達成ビジョン

今次中期経営計画が目指す達成ビジョンは以下のとおりです。

- (1) 風水力機械分野において、世界市場でのプレゼンスを確立する
- (2) 顧客・市場の成長とともに成長・拡大していく企業となる
- (3) 収益力の高い独自の技術・製品を持つ
- (4) 人材教育を重視し、高い品質の製品・サービスを提供する
- (5) CSR経営を推進する

3. 経営数値目標

目標とする連結経営数値目標は下記のとおりです。

(金額単位:億円)

	2007年度 (見込み)	2008年度 (目標)	2009年度 (目標)	2010年度 (目標)
受注高	250	238	253	263
売上高	195	225	240	250
営業利益	9.0	10.1	12.0	12.5
営業利益率	4.6%	4.5%	5.0%	5.0%
経常利益	11.0	11.7	13.5	13.9
当期純利益	5.5	6.6	7.5	7.8
1株あたり 当期純利益(円)	119(円)	143(円)	162(円)	169(円)

4. 経営戦略

ビジョンおよび経営目標数値を達成するための戦略は以下のとおりです。

- (1) 積極的な海外展開(特に石油関連分野)
- (2) 販売・生産の成長と効率化による利益拡大
- (3) 官需マーケットにおけるプレゼンス維持
- (4) 設備投資と人材確保による生産能力25%以上アップ
- (5) 人材教育プログラムの拡充と実施
- (6) 短期サイクルのコミットメント管理のさらなる強化

以上

上記経営目標は、本資料作成時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績はその後の様々な情勢の変化により本経営目標値と異なる可能性があります。